

大阪府医師政治連盟ニュース

発行所
大阪府医師政治連盟
大阪市天王寺区上本町
2-1-22
大阪府医師会館内
電話(06)6763-7004

医療現場の声を国政に届ける政治家に

「医療・介護・福祉を守る」かまやち氏の活躍にエール

持続可能な医療制度の実現へ

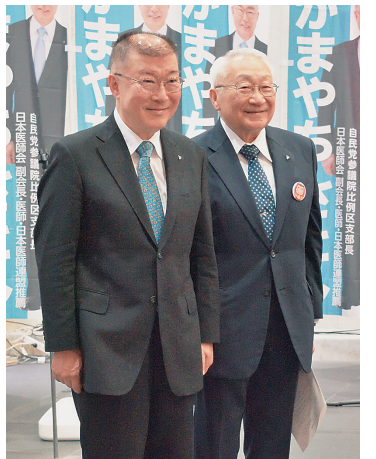
社会保障関係トップで初当選



「伝える。届ける。優れた医療・介護をすべての人へ、次世代へ」をキャッチフレーズに、全国各地で支援を呼びかけてきたことが初当選につながった

第27回参議院議員選挙が7月20日、投票開票された。日本医師連盟の推薦を受け、新人で初当選を目指したかまやちとし氏は、17万4434票を獲得した。日本医師連盟のほか、日本看護連盟、日本薬剤師連盟などの医療・介護・福祉関係の候補者がひしめく中、自民党内8位(特定枠を含む)、社会保障関係トップの成績で、かまやち氏が敵しい選挙戦を制し、初当選を納めた。

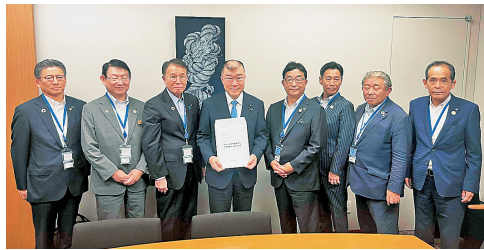
7月20日、日本医師会館で医師会関係者や支援者らとともに開票の戦い(令和8年度診療報酬改定)に向け、引き続きさらなる選定の吉報は翌朝とて、引き続きさらなる「当選ご支援をお願いした確実」の知らせが伝わった瞬間、出席者全員で当選の喜びをかみ締めた。かまやち氏は安堵の表情を浮かべた。同日に開かれた選挙報告会では、医療・介護・福祉の様々な団体の協力のみならず、かまやち氏の人徳を決意を示した。「国によって初当選が果たされた」と総括した。



茂松茂人日医連副委員長(右)も全国各地で支援を呼びかけた

しっかりと役割を果たします

参議院議員 かまやち 敏



加納康至委員長先生をはじめ、大阪府医師政治連盟の皆様には、日頃より温かいご指導とご支援を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

今回の選挙では、決起大会をはじめ、ご地元の先生方や介護・福祉関係者の方々とお話しさせていただき、8月1日、小雨の

降る中でしたが、国会の正門から初登院いたしました。中央階段を上る時は、先生方からの大きな負託に、身の引き締まる思いでありました。本臨時国会では、参議院議長(自民党・関口昌一先生)、副議長(立憲民主党・福山哲郎先生)の選出、常任委員会会の配属等が決められました。秋の臨時国会前に改めて正式な配属が決まりますが、今回は暫定として、外交防衛委員会、決算委員会、東

日本大震災復興特別委員会に就くことになりました。

7月の参議院議員選挙は政権与党にとり極めて敵しい結果でありましたが、石破茂総理(当時)が統制の方針を打ち出されました。一方この間にも、医療や介護、福祉の現場では、経営と処遇の状況がさらに悪化しており、一日も早い補正予算による適切な救済策が強く求められております。この状況を早急に改善すべく、自民党政調

全体会議や厚労部会、社会保障制度調査会介護委員会への出席をはじめ、会合や個々の面会等において、物価上昇対応や処遇改善のための原資を適切に手当てし、事業を持続可能にする経常収支の設定を訴えてまいりました。

9月7日には石破総理より退陣が表明され、10月4日に行われた自民党総裁選では私も自民党議員として、一票を投じて参りました。決選投票の末、高市早苗議員が新総裁に選出されました。これから来年には通常国会が開催されます。今日までの遅れを取り戻し、本年6月に閣議決定された「骨太の方針2025」の物価高・賃金上昇対応を実現するために、令和7年度補正予算、そして年末の8年度診療報酬の大枠の編成に向けて、しっかりと役割を果たして参ります。

引き続きのご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

加納委員長が今後の医政活動に言及 府医政連支部長打合せ会



かまやち敏参議院議員の当選を受け、加納会において、支部長康至・大阪府医師政治連盟(府医政連)委員に改めて謝意を表した。今回の選挙では、(写真内)は、8月22日に開催した「府医療・介護・福祉分野の関係者が自民党の比例代表に多数立候補し、強い逆風が吹く厳しい状況で投票を迎えた。全体の結果を見ると、社会保障関係でトップ当選を果たしたが、大阪府内での得票数は、前回(令和4年)よりも1863票を減らした6485票であった。

加納委員長は、「参議院比例代表選挙は、各団体の政治力、組織力が都道府県ごとに反映される唯一の選挙であり、各候補者の得票数を通じて、各団体のどの程度の集票能力、すなわち政治力を持っているのかが見極められている」との見方を示した。一方で、大阪においては、A会員1人当たりの得票数が都道府県の中で4回連続最下位という非常に敵しい結果となったことについて、遺憾の意を表した。今後の高齢社会を踏まえ、それぞれの地域に応じて医療・介護・福祉などを充実させるよう、地域医療のさらなる充実に向けた医師会活動も重要と前置きした上で、「有事だけでなく、平時から、各級議員との関係構築に努める必要がある」と述べ、「支部の意見を踏まえつつ、執行部においても、早急に今後の選挙対策への検討を講じていきたい」と決意を語った。

